

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.osaka-soda.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(100株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

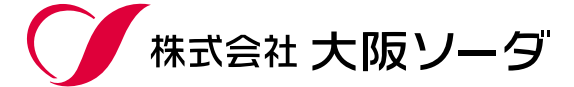
当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。
ホームページアドレス
<https://www.osaka-soda.co.jp/>



トップ
ページ

株主のみなさまへ



第170期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

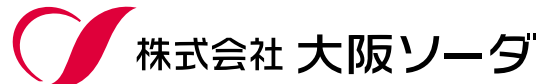
証券コード：4046

<https://www.osaka-soda.co.jp/>

Something **Better** with Chemicals

化学で笑顔を
育む会社

すごソーダ



本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
TEL.06-6110-1560



代表取締役社長執行役員
寺田 健志

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第170期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

2024年12月

グループ企業理念

独創的な技術と製品により
安心で豊かな社会の実現に貢献します

業績ハイライト

売上高	502 億円	前年 同期比	7.6% ↗
営業利益	70 億円	前年 同期比	41.7% ↗
経常利益	72 億円	前年 同期比	19.4% ↗
親会社株主に帰属する 中間純利益	49 億円	前年 同期比	20.4% ↗
中間配当	45 円	年間 配当	95 円(予定)

※2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。
年間配当95円については、株式分割前の基準で記載しております。

経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善に加え、個人消費や設備投資の持ち直しの動きなど緩やかな回復が続きました。一方で、原燃料価格高騰や物価上昇に加え、ウクライナ情勢の長期化、中東地域をめぐる情勢、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞にともなう影響など、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「Shape the Future-2025」（2023年～2025年度）で掲げた「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

「既存事業の継続的基盤強化」においては、安定した

キャッシュの創出と成長分野への積極的な投資により事業基盤の拡充を図ってまいりました。基礎化学品事業では、2023年4月に発生した水島工場アリルクロライド製造設備の主要機器の不具合に関しましては、2024年6月末に復旧工事を実施し供給問題は解消しました。設備管理強化による安全・安定稼働を継続し、顧客への供給責任を果たしていくことで信頼回復に努めております。機能化学品事業では、既存顧客への拡販活動や新規開拓の推進により合成ゴムや合成樹脂の販売を伸ばすことができました。ヘルスケア事業では、糖尿病治療薬や肥満治療薬向けの医薬品精製材料の需要が引き続き拡大しており、順調に販売数量を伸ばしております。需要拡大に対応するため、松山工場の新設工事は9月に竣工、尼崎工場の増強工事も計画通り進行しております。肥満治療薬市場が急速に拡大していることから需要予測の再検証とともに、さらなる製造設備の増強についても検討を始めております。

「新製品創出力の強化」では、NEDOのグリーンイノベーション基金事業として採択された全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー等の次世代蓄電池用材料の開発は当初計画通りに進捗しております。医薬品精製材料では、今後の需要拡大が見込まれるEPA精製用途や超臨界流体クロマトグラフィー用途向けの超高表面積ゲルの開発を進めており、顧客への営業活動を開始しております。また、近年注目を浴びている資源リサイクルの領域では、微量金属吸着材の素材開発を進めており、顧客での実証段階に入る予定です。

「サステナビリティ経営の推進」では、将来の成長に

向けた積極的な投資と株主還元を目指したキャッシュ・アロケーションを定めるとともに、投資家との対話の機会を増加させるなど「資本コストや株価を意識した経営への取り組み」を進めてまいりました。

また、人的資本への投資の一環として業務改革活動の浸透による人材育成を図るとともに、働きやすい職場環境づくりや従業員エンゲージメントの向上を図るため、本社移転（2025年8月予定）を決定いたしました。創立120周年を迎える2035年のありたい姿として掲げる「社員が実力を存分に発揮できる企業」の実現に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間の売上高は、501億6千7百万円と前年同期比7.6%の増加となりました。利益面におきましても、営業利益は69億6千7百万円と前年同期比41.7%の増加、経常利益は71億8千5百万円と前年同期比19.4%の増加、親会社株主に帰属する中間純利益は48億6千6百万円と前年同期比20.4%の増加となりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり45円とさせていただきます。

今後の見通し

通期の業績見通しにつきましては、売上高1,030億円、営業利益160億円、経常利益168億円、親会社株主に帰属する当期純利益115億円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

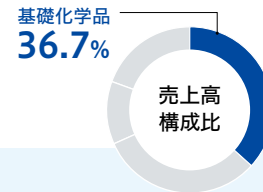
セグメント別の状況(連結)

169期(2023年度)より報告セグメントを変更しております。168期(2022年度)の数値は、新セグメントに組み替えた数値です。

基礎化学品

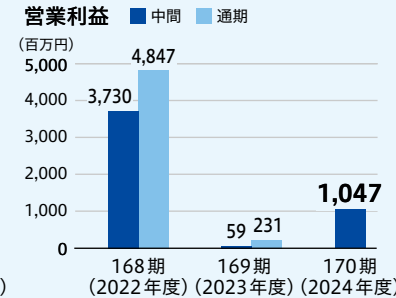
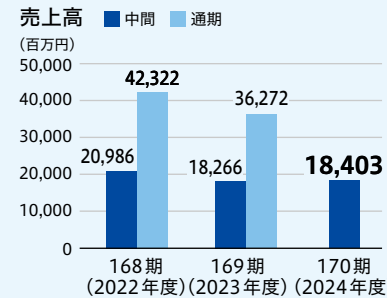
売上高
184億0千3百万円

前期比
0.8%増加



クロール・アルカリは、水島工場の製造設備不具合による供給問題が解消したため販売数量は増加しましたが、市況軟化にともなう販売単価調整の影響もあり、売上高は減少しました。

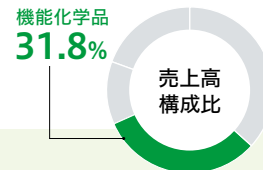
エピクロルヒドリンは、海外市況軟化による影響を受けましたが、製造設備不具合による供給問題が解消し海外向け販売数量が増加したため、売上高は増加しました。



機能化学品

売上高
159億6千3百万円

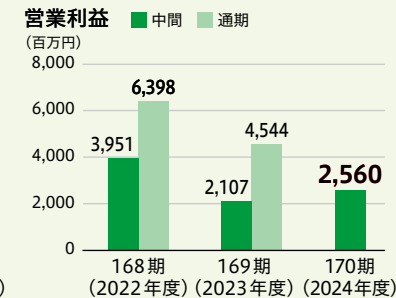
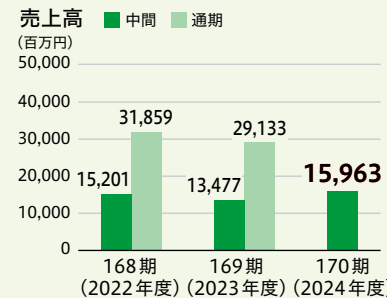
前期比
18.4%増加



合成ゴム関連では、エピクロルヒドリンゴムの販売が自動車用途向けで順調に推移したことに加え、原燃料価格の高騰にともなう価格改定を実施したため、売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、UVインキ用途で中国を中心に新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

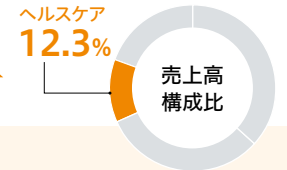
アリルエーテル類では、中国で塗料用途を中心としたシランカップリング剤向けの需要が堅調に推移したため、売上高は増加しました。



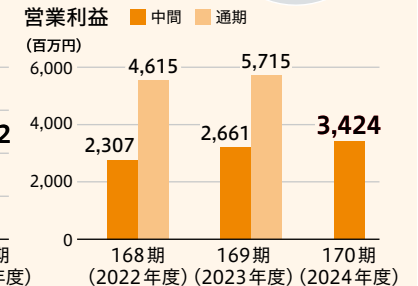
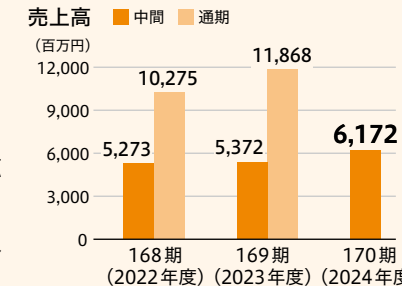
ヘルスケア

売上高
61億7千2百万円

前期比
14.9%増加



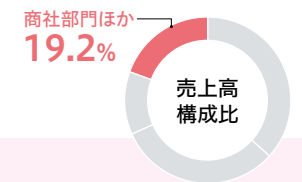
医薬品精製材料は、欧米ならびにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、糖尿病の合併症治療薬中間体および筋疾患治療薬原薬の販売が拡大しましたが、核酸医薬原薬や抗潰瘍薬中間体の販売が減少したため、売上高は減少しました。



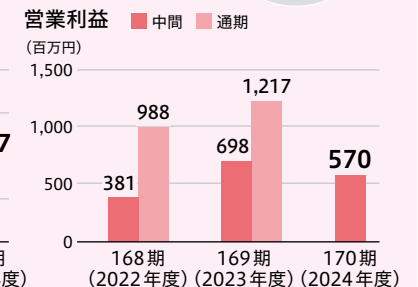
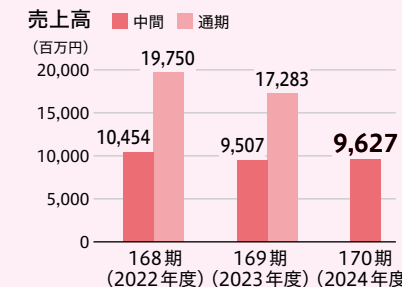
商社部門ほか

売上高
96億2千7百万円

前期比
1.3%増加



生活関連商品は輸入建材の販売が拡大し、ガラス繊維は電子材料および自動車向け商材を中心に需要が回復したため、売上高は増加しました。



当社グループのセグメントと主要製品

基礎化学品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライドなど

機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、アクリルゴム、ダップ樹脂、ノンフタレート型アリル樹脂、高純度エポキシ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、電極など

ヘルスケア

医薬品精製材料、カラム・装置等分析機器、医薬品原薬・中間体、光学活性体など

商社部門ほか

化学製品の販売・輸送・貯蔵、生活関連商品、建材、資源リサイクルなど

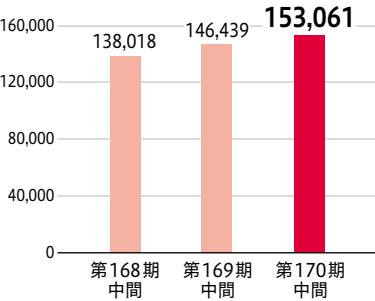
連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約)

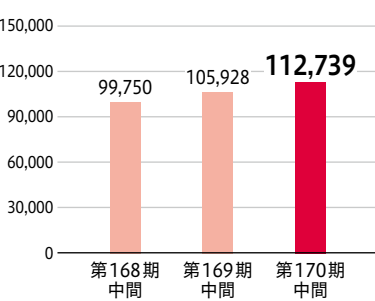
(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期末 (2023年9月30日)	当中間連結会計期末 (2024年9月30日)	前連結会計年度末 (2024年3月31日)
資産の部			
流動資産	93,059	94,021	92,444
固定資産	53,379	59,039	58,096
有形固定資産	25,658	29,290	27,932
無形固定資産	920	1,517	772
投資その他の資産	26,800	28,231	29,391
資産合計	146,439	153,061	150,541
負債の部			
流動負債	33,144	32,927	32,860
固定負債	7,366	7,394	7,915
負債合計	40,510	40,321	40,776
純資産の部			
株主資本	94,719	100,110	96,377
その他の包括利益累計額	11,197	12,621	13,383
非支配株主持分	12	7	4
純資産合計	105,928	112,739	109,765
負債純資産合計	146,439	153,061	150,541

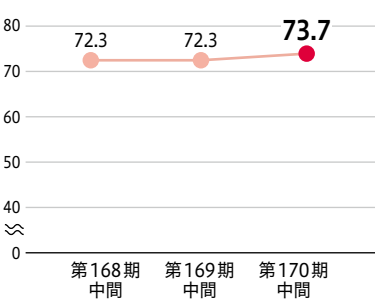
総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)

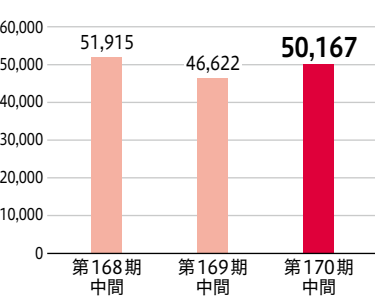


中間連結損益計算書(要約)

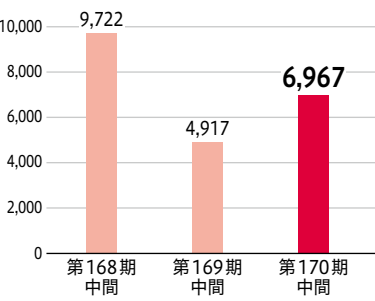
(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
売上高	46,622	50,167	94,557
売上原価	34,466	35,513	69,760
売上総利益	12,156	14,654	24,796
販売費及び一般管理費	7,238	7,686	14,304
営業利益	4,917	6,967	10,492
営業外収益	1,191	679	2,230
営業外費用	89	462	714
経常利益	6,020	7,185	12,008
特別利益	—	—	181
特別損失	94	84	798
税金等調整前中間純利益	5,925	7,100	11,391
法人税、住民税及び事業税	1,833	2,237	3,649
法人税等調整額	52	△0	104
中間(当期)純利益	4,039	4,864	7,637
非支配株主に帰属する中間(当期)純損失(△)	△3	△2	△12
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	4,042	4,866	7,650

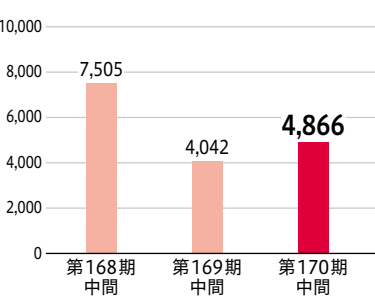
売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する
中間純利益 (単位：百万円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,149	10,117	8,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△815	△4,483	△4,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,167	△1,226	△3,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	440	123	453
現金及び現金同等物の増減額	3,607	4,531	1,588
現金及び現金同等物の期首残高	36,843	38,432	36,843
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	40,450	42,963	38,432

TOPICS

そうのうかん

健康食品「爽能柑」が機能性表示食品としてリニューアル



リニューアルした爽能柑

本年6月に、「爽能柑」が機能性表示食品としてリニューアルいたしました。爽能柑は、産官学(当社、愛媛県産業技術研究所、愛媛大学)共同研究により誕生し、2021年に発売以降、健康食品としてご好評いただいております。柑橘果皮に含まれる成分「オーラプテン」を1日あたり6mg摂取することにより、加齢とともに衰える認知機能の一部である記憶力を維持する機能があるという科学的根拠がみとめられ、機能性表示を取得いたしました。

当社は、今後とも社会の健康に対するニーズに耳を傾け、消費者の皆さまによりわかりやすくご安心いただけるさまざまな健康食品素材の開発を通じて、超高齢社会をサポートしてまいります。

専用サイトはこちら▼



株式の状況

発行可能株式総数-----60,000,000株
発行済株式の総数-----26,732,017株
株主数-----5,507名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,237	12.75
株式会社日本カストディ 銀行(信託口)	2,422	9.54
株式会社三菱 UFJ 銀行	876	3.45
株式会社福岡銀行	822	3.24
株式会社伊予銀行	748	2.95
株式会社みずほ銀行	669	2.63
日本生命保険相互会社	637	2.51
ダイソー協栄会	617	2.43
損害保険ジャパン株式会社	615	2.42
旭化成株式会社	586	2.31

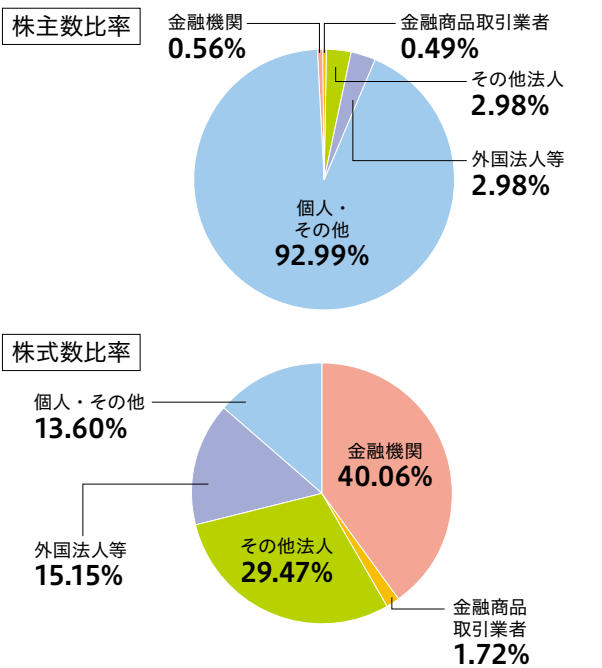
(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(1,358,263株)を控除して計算しております。

中間配当について

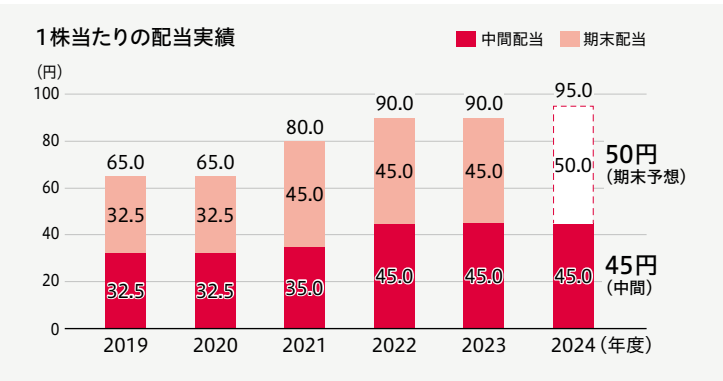
1. 中間配当金 1株当たり45円
2. 支払開始日 2024年12月5日(木)

※2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。
2024年度期末配当予想については、株式分割前の基準で記載しております。

株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(5.08%)が含まれております。



会社概要 (2024年9月30日)

社名株式会社大阪ソーダ
OSAKA SODA CO., LTD.
URLhttps://www.osaka-soda.co.jp/
創立1915年(大正4年)10月26日
資本金15,871百万円
連結従業員数1,032名

関係会社の状況

国内	
会社名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品・生活関連商品等の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造・販売、メンテナンス
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
サンヨーファイン医理化テクノロジー(株)	カラム・装置等分析機器の製造
DSウェルフーズ(株)	健康食品素材の製造・加工販売
ダイソーインシュアランス(株)	損害保険・生命保険の取扱い
(株)INBプランニング	ゴム製品の製造・販売

海外	
会社名	主要な事業内容
三耀精細化工品銷售(北京)有限公司	カラム・装置等分析機器の販売
DAISO Fine Chem USA, Inc.	医薬品精製材料の製造・販売
DAISO Fine Chem GmbH	医薬品精製材料・機能化学品等の販売
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入
DestinHaus Capital Fund 1 LP	投資事業
Elite Advanced Polymers, Inc.	ゴム製品の製造・販売

役員

[取締役・監査役]		
代表取締役 社長執行役員	寺田健志	
取締役 上席執行役員	小西淳夫	
取締役 上席執行役員	木村武司	
取締役(社外)	二村文友	
取締役(社外)	百嶋計	
取締役(社外)	宮田興子	
常勤監査役	瀬川恭史	
常勤監査役(社外)	藤藪重紹	
監査役(社外)	森真二	

[執行役員]		
執行役員	勝間賢一	
執行役員	今村徹	

大阪ソーダグループのネットワーク (2024年9月30日)

